

令和5年度 高千穂町立上野小・中学校学校評価書

[4段階評価]

4…期待以上

3…ほぼ期待通り

2…やや期待を下回る

1…改善を要する

	重点項目	評価指標	学校の自己評価コメント	自己評価	学校関係者評価	学校関係者の評価コメント
学びづくり	個に応じた授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種学力検査等の結果を分析し、「分かる・できる」授業を展開する。 ○ 体験的な学習や問題解決的な学習を推進する。 ○ 小学校教諭の指導技術と、中学校教諭の高い専門性を組み合わせたチームで、授業づくりを行うことで、個に応じた授業づくりをねらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ アンケートの結果から、小中合チームでの授業作りは、「とても効果的」が73%、「効果的」が26%と高い評価だった。 	3.3	3.0	
	ICTを活用した授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ICTを活用した学びの深化」をテーマに授業や校務におけるICTの活用を進める。 ○ 一人一台タブレットを活用した授業実践を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研究授業を行った先生方だけでなく、一緒に授業作りを行った先生方もほとんど全員が授業におけるICT活用能力の向上を実感している。 	3.6		
	家庭学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校では「チャレンジスタディウィーク」として期間を設け、学習のポイントや覚え方など、テストの対策をまとめ取り組む。 ○ 家庭学習の手引きを全家庭に配布し、学年に応じた家庭学習の進め方を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ チャレンジスタディウィーク後の振り返りでは、メディアを消して計画的に学習に取り組めた、集中して予定時間よりも多く取り組めたという意見が多かった。 ○ 小学校は、家庭学習の手引きを4月に全家庭に配布し、参観日の懇談会や家庭訪問の中で紹介することはできた。ただ、その後の家庭学習の充実に関しては、各学年の実態に応じて取り組んでもらっており、全体では把握していない。 	3.3		<p>家庭学習の充実においては、家庭での過ごし方ではあるが、メディア等の管理が必要。学校からのアプローチも引き続きお願いしたい。</p>
	読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 担任や小学6年生による相互読み聞かせ、お薦めの本の紹介を実施する。 ○ 常設展示コーナーの工夫や、図書委員会の読書ビンゴ等を企画し、図書室利用の促進を図る。 ○ やまびこ文庫の冊数を増やすことで、学級の文庫を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 季節や行事に応じたおすすめ本を展示したり、委員会によるおすすめ本をteamsにて紹介したりした。 ○ 絵本コーナーの改良を行い、学校図書館の読書機能の拡充に努めた。読書パズルなどを1学期に実施予定。 ○ やまびこ文庫の配送を返本週間とずらすことで、長期休業前にも教室で読書ができるよう配慮した。 	3.1		<p>家庭での読書の時間確保のためにもメディアとの適切なバランスが必要。学校でも読書量調査や読書のための時間確保をお願いしたい。</p>

	キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校では、地域人材を活用した「ふれあい教室」や「上野ハローワーク」を実施する。 ○ 中学校では、礼法指導や職場訪問（中1）、職場体験、高校説明会（中3）等、系統的な進路学習や職場体験学習を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の実態に合わせ、上学年は学校で、下学年は実際に職場に出向いて職業講話（ハローワーク教室）を実施した。 ○ 全学年で系統的な進路学習を実施し、進路情報を共有。中学1・2年生は、ワークシート等を活用し各自の適性を知り、進路について考えを深めた。中学3年生は、年間を通して進路学習を計画的に実施し、各自の進路選択に繋げることができた。 	3.5		職場体験学習は、上野地区だけの事業所体験だけでなく、引き続き高千穂町内の事業所で取り組んでいただきたい。
心 づく	特別の教科「道徳」の授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年間指導計画に基づいて、計画的に授業を行う。 ○ 校内で、道徳の授業を参観し、授業力を向上する。 ○ 参観日において、道徳の授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学級で計画に基づいた授業が実施されている。教科書の挿絵資料や心情メーターの活用を通して道徳の実践力を高める授業の実践が見られる。 ○ 授業力の向上においては、人権同和の研修において、各学年からの報告会があるため、道徳授業の参観に代替が可能。 	2.6		昨今、SNSなどメディアリテラシーの低下による社会問題がある。道徳においては、人の痛みがわかる授業の取扱をお願いしたい。
	豊かな心を育む教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「お芋学習」「お米学習」などの地域との連携学習や「棒術」「人形浄瑠璃」「上野白太鼓踊り」「神楽」などのふるさと学習を通して地域のよさを発信する。 ○ 沖縄県豊見城市との交流学习を実施し、「エイサー」を通して地域との交流を図る。 ○ 本年度は、中学校において、10月に中山間地エリア会議【ひなた場】を実施予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ お米学習、お芋学習については、SAP（JA青年部）のみなさんにご協力いただいたことで、子どもたちが主体的に学習に取り組むことができた。 ○ 芋の世話は、今年度はSAPのみなさんに頼りきりではなく、草抜きやつる剥がし、芋掘りなどできるだけ、児童が主体的に取り組めるように指導した。 ○ 棒術については、昨年度に引き続き、工藤義昭さん、佐藤信一さんのご協力を得て、3・4年生の総合的な学習の時間で練習を重ね、運動会、文化発表会で披露することができた。 ○ 上野白太鼓踊り保存会やお師匠さんから夏休みや2学期の総合的な学習の時間を使って、練習を重ねた。文化発表会で地域に発信することができた。 ○ エイサーについては、コロナの影響で実施されていなかった豊見城市との交流を4年ぶりに実施し、エイサーを舞う意味や思いを教えていただいた。5・6年生は、サルタフェスタで豊見城市のジュニアリーダーの方々と一緒に練習したエイサーを披露した。 	3.7	3.0	来年度で中学校が閉校となる。次世代への継承として小学校でできる伝統は、引き続き継承をお願いしたい。
	レジリエンスや非認知能力を高める教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業における立腰教育を推進する。 ○ 学級通信の中で、個人の頑張りや学級での関わりを記載することで、信頼感や有能意識を高める。 ○ 小さな目標を立て達成することで、充実感や達成感を持たせる。また、目標達成までの過程を大切にす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学級で掲示物を活用しながら、立腰に留意した指導がなされている。 ○ 学級通信やホームページ、校長室前掲示板を用いて個人の頑張りを称賛できた。 ○ 各メディアでとりあげられた児童生徒の成果が、掲示板に貼られ称賛されることで、レジリエンスや非認知能力を高める効果があった。 	3.2		児童生徒それぞれの個人の良さがある。一人一人その良さをこれからも、引き出せるように学習活動に取り組んでいただきたい。
	小学生と中学生が交流し、合同で取り組む活	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中合同の玄武タイムや縦割り清掃で、花壇の整備や清掃活動を実施する。 ○ 小中合同の始業式や終業式、運動会や 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 始業式や終業式、運動会を全校児童・生徒が参加して行うことができた。また、文化発表会では、午後の劇も小学生全児童が鑑賞することができた。 ○ 小学校では、放送委員会の児童が全校のみんなに楽しんでもらえるような内容の番組作りに取り組んだ。 	3.5		

	動・行事の充実	文化発表会等の学校行事を教育課程に位置付ける。 ○ 給食時の校内放送では、小中共通の内容や話題等、児童生徒の交流が図られる企画を実施する。	○ 時期に応じて、放送内容や話題を計画し、実施した。共通内容にも取り組み、小中の交流が図られる内容に取り組んだ。			
	環境教育の充実	○ 「上野流清掃の心得」を清掃前に放送で聞き、無言清掃の質を高める。 ○ 玄関前掲示では、担当学年や委員会で計画的に、時季や行事に合わせた掲示物を作成する。 ○ 児童生徒の作品や各種大会・コンクール等の賞状を掲示し、掲示教育を充実する。	○ 小学校は玄関前掲示については、計画的に進めることができた。 ○ 小学校では、学年の校内掲示が計画的に行われ、児童の作品を展示することができていた。	3.3		
体づくり	体力向上の推進	○ 体力向上プランを作成し、体育や保健体育の授業を中心に活用し、児童生徒の体力向上を図る。 ○ 上野流「朝のトレーニング・ストレッチ」を実践し、体幹を鍛える。 ○ 小中合同運動会や体育的行事の充実を図る。 ○ 外遊びを奨励し、自力登校を推進する。	○ 体力向上プランに基づいた「朝のトレーニング・ストレッチ」を実施したことで、弱点である握力や上体起こしのスコアが向上した児童が増えた。 ○ 体カテストの結果を分析すると、体力の向上が見られた。自ら運動に取り組む生徒も増えている。	3.1		
	健康・安全教育の充実	○ 交通教室や避難訓練、保護者引き渡し訓練を実施し、自ら危険を回避する能力を育成する。 ○ 安全点検を月1回実施する。	○ 保護者・地域の方の協力を得ながらいずれも計画的に訓練を実施することができた。あらゆる事態を想定し、訓練を実施することで、児童・生徒の危機管理能力を高めた。 ○ 保護者・地域の方の協力を得ながらいずれも計画的に訓練を実施することができた。あらゆる事態を想定し、訓練を実施することで、児童・生徒の危機管理能力を高めた。 ○ 定期的に安全点検教育を実施することで、職員全員が校内外の危険箇所を把握することができた。	3.5	3.0	地震や津波などの災害が多く、その際の自分自身の適切な判断、管理能力が今後必要になってくる。保護者引き渡し訓練等、今後も危機管理能力の向上に努めていただきたい。
	食育に関する指導の推進	○ 児童生徒が自分で作る「みやぎき弁当の日」をする。 ○ 食育の年間計画を実施する。	○ 3学期に小中共に実施予定。 ○ 食育の内容に応じた取り組みとして、小学校1、2年生は栄養教諭による指導を実施できた。	3.1		

地域と連携した学校づくり	ふるさと学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校外学習や総合的な学習の時間に、ふるさとを知る見学、講話などを行う。 ○ 「GIAHS（世界農業遺産）」を題材として授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学1年生は鳥屋岳の野生植物自生地見学及び講話を現地にて行った。 ○ 中学生は、講師の方に来ていただきふるさとを知るワークショップを行うことができた。 ○ 3学期に高千穂高校生に来てもらって、GIAHS（世界農業遺産）に関する授業を行う予定。 	2.8	3.0	文化発表会の展示では、学校だけの展示ではなく、地域の方々からも多くの展示があり、上野地区の発表会の様で良かった。
	伝統芸能の継承	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「棒術」や「神楽」「臼太鼓踊り」「エイサー」を運動会や文化発表会で保護者や地域の方に披露する。 ○ 伝統芸能の指導者の方と打合せを行い、練習日程や時間の確保を調整する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝統芸能指導者のおかげで、運動会や文化発表会の時に、児童生徒の発表を行うことができた。 ○ 指導者との反省会も行い、今後に向けての方向性を見いだすことができた。 ○ 打合せ会も反省会も実施することができた。 	3.6		
	地域との連携・協働と地域行事等への参画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域学校協働活動推進委員と連携しながら、地域の人材を積極的に活用し、地域の方の作品展示を文化発表会で行い地域を知る機会をつくる。 ○ 春祭りや神楽等、地域行事に積極的に参加し、伝統芸能を継承したり、行事の準備や計画に加わったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化発表会の時には、地域学校協働活動推進員の力添えにより、児童生徒の作品展示だけでなく、地域の団体の方々作品展示を行うことができ、地域を知る機会となった。 	3.4		
信頼される学校づくり	教育の質の向上と児童生徒の教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワーク・ライフバランスのとれた生活を実践し、退庁時刻を意識した業務に取り組む。 ○ 校内研修を充実させたり、校外での研修や質の高い授業を参観したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ リフレッシュデイ（小⇒金曜日 中⇒水曜日）における定時での退勤を促したり、勤務の振替提案をおこなったりすることで、時間的ゆとりが生まれ出るようにした。 ○ 第2回のコンプライアンス研修では、県教委より講師を派遣していただき、講話していただくことで、具体的な違反事例を知ることができ、職員の交通違反での罰則など認識率も上がった。 	3.1	3.0	空きビン回収や奉仕作業を平日開催とするなど、PTAとの連携により、働き方改革も進んでいる。
	家庭・地域への積極的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級通信やホームページ等で情報を保護者、地域に発信する。 ○ 参観日やPTA総会等を通して、保護者や地域の意見を積極的に学校運営に取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校行事だけでなく、日常の様々な場面をホームページをとおして紹介することができた。 ○ 参観日での懇談で、児童の名札について相談された。今年度途中から学校へ名札を置いて帰るように変更した。 	3.3		
	学校評価の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校評価に係る学校関係者評価委員会を年2回実施する。（学校評価の実施、公表、報告） ○ 教育活動に係る保護者アンケートを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今年度は学校評価書について、「児童・生徒」「保護者」のアンケート評価項目と「学校」のアンケート評価項目とが、関連づけができるように変更した。 ○ 保護者アンケート、児童生徒アンケートは1月に実施予定。 ○ 2月の参観日において、学校関係者評価委員会を実施予定。 	3.5		